

任意団体 応用地質研究会ヒ素汚染研究グループ

バングラデシュの水供給困難地域における給水施設の持続的利用のための啓発活動及び維持管理技術支援

イベントの 延べ参加者数	570人
対象12ユニオン中の停 止中給水施設再稼働率	7%
活動の全体目標 に対する達成度	60%



ゴガ村での維持管理トレーニング実施状況

◆成果と工夫したポイント

- 成果** 地下水ヒ素汚染地域12ユニオン
中11ユニオン17か所で啓発活動
を行った結果、7ユニオン8か所で利用者組合
が立ち上がり、停止中給水施設の修繕・維
持管理トレーニング、ワークショップに至った。
- 工夫** 地方行政(ユニオン)、政府の水供給担当
部署(DPHE)と連携を図った。

課 題

バングラデシュの地下水ヒ素汚染地域・地下水塩水化地域で、
コミュニティーによる運営が行われている給水施設の、持続的利
用を進める。

活動内容

- 活動1：既存給水施設の実態調査
地下水塩水化地域について現地
調査を行った。
- 活動2：地下水ヒ素汚染地域で昨
年度選定した11ユニオン17か
所に対して、停止中給水施設の
再稼働促進キャンペーン、住民
組織化支援を行った。



ゴガ村の維持管理組合委員
マニュアルを贈呈した

- 活動3：活動2の結果、8か所で利
用者組合が立ち上がり、停止中給水施設の修繕、維持管理トレーニ
ング、モニタリング、安全な水供給のためのワークショップを行った。

今後の課題

再稼働した給水施設の維持管理が住民によって主体的に適切に
行われるかどうか、行政がこれを支援できるか。地下水塩水化地
域でも同様に停止中給水施設再稼働を進める。